

管内市町村の概要



オホーツク管内

■総面積 10,690.36km²
(全道比 12.8%)

3市14町1村

■総人口 249,942人
■世帯数 139,883世帯

- 

北見市
Kitami City

■面積 1,427.41km² ■人口 107,771人

管内商工業の中心都市。タマネギ生産量日本一を誇る農業や、ホタテなどの漁業も盛んです。人口に対する焼き肉店の割合が道内一高く、焼き肉の町としても有名です。また、常呂自治区はカーリングの町として知られており、多くのカーリング五輪日本代表選手を輩出しています。温根湯温泉には「山の水旅館(北の大地の水旅館)」があり、人気スポットの1つです。
- 

網走市
Abashiri City

■面積 470.84km² ■人口 31,311人

知床・阿寒摩周・大雪山の3つの国立公園に囲まれた網走国定公園の中央に位置しています。ラムサール条約登録湿地の瀧渚湖をはじめとする5つの湖や、知床連山を望む名勝・天都山を擁し、冬には流水が接岸するなどダイナミックな自然景観が広がります。サケやホタテなどの新鮮な魚介類がたくさん獲れ、とりわけ、網走湖のシジミとワカサギは全道一の漁獲量を誇ります。
- 

紋別市
Mombetsu City

■面積 830.67km² ■人口 19,396人

オホーツク紋別空港が立地するオホーツク管内北部(遠紋地域)の中核都市です。「流水観光船ガリンコ号III(EMERU)」、「海展望塔オホーツクタワー」など、冬の流水観光がよく知られており、カニやホタテに代表される海産物も魅力です。夏は涼しい気候のため、海や川での釣り、キャンプ、パークゴルフなどのアウトドアが人気です。
- 

美幌町
Ishikari Town

■面積 438.41km² ■人口 16,774人

「ぐるっとパノラマ美幌峠」は、全道でも指折りの観光地。天下の絶景とも呼ばれ、知床や阿寒の山々の大パノラマが広がります。北海道道の駅ランキング「再度訪れたい」部門では1位を獲得しています。圏域の主要都市に近接する優れた立地と、気候にも恵まれ、活気ある町です。基幹産業である農業のほか、スポーツも盛んで、多くのオリンピック・パラリンピック選手も輩出しています。
- 

津別町
Tsubetsu Town

■面積 716.80km² ■人口 3,872人

林業が盛んで、木材・木製品製造業出荷額は全道一です。屈斜路湖を見下ろす津別峠展望台からの雲海が絶景です。津別峠の麓にある一軒宿の奥尻斜路温泉、可憐なクリンソウの群落、原始の森に囲まれた秘湖・チメクツ湖など選りすぐりの山村の魅力に満ちあふれています。また、2021年に開催された東京五輪のメダルケースは町内家具メーカーが津別産木材を使用し制作、一躍話題となりました。
- 

斜里町
Shari Town

■面積 737.13km² ■人口 10,220人

知床峠・知床五湖などのある、世界自然遺産知床を代表する町で、ウトロ地区は豊かな温泉郷です。農業と漁業も町を代表する産業で、中でもサケ・マスの漁獲量は日本トップクラスを誇ります。地産産品の優良な食品を「知床しゃりブランド」として積極展開しています。
- 

清里町
Kiyosato Town

■面積 402.76km² ■人口 3,538人

百名山「斜里岳」の恵みを受けた肥沃な大地と豊富な水資源を活かし、畑作を中心とした大規模農業が営まれています。春～秋にかけては、山奥に佇む神秘的「泉の子池」、世界屈指の透明度を誇る摩周湖を望む「裏摩周展望台」、滝を飛び越えるサクラマスで有名な「さくらの滝」が人気です。冬は空気が澄んでいるので、雪で白く染まった斜里岳と空とのコントラストが美しく際立つ他、野鳥や星空の観察にも適しています。
- 

小清水町
Koshimizu Town

■面積 286.89km² ■人口 4,242人

小清水原生花園のほか、オホーツクの村や、じゃがいも街道、そして泉質と施設が自慢のふれあいセンターなど見どころの多い小清水町の中でも、ゆりの郷こしみず「リリーパーク」は東京ドーム約3倍にあたる13haの丘陵地に、カサブランカ、マルコポーロなど世界各地から集められた約100品種・700万輪のユリが7月上旬から9月上旬まで咲き乱れます。園内には売店もあり、ユリの切り花・鉢植え・球根の販売予約もっています。
- 

訓子府町
Kunikida Town

■面積 190.95km² ■人口 4,387人

訓子府町は盆地特有の寒暖差のある気候や常呂川に沿って広がる肥沃な大地を生かした、農業の町です。主要農作物はタマネギ、ジャガイモ、小麦、てん菜などが挙げられます。学校給食の米・タマネギ・ジャガイモは全て訓子府産を使用しており、豊潤な甘さを誇る「くねっぶ」がメロンは、贈答用としても人気です。また、卵でとしじい「たれカツ丼」はご当地グルメとして有名です。

- 

置戸町
Oketo Town

■面積 527.27km² ■人口 2,452人

木目の美しさが特徴の木工品「オケクラフト」が特産品。森林工芸館では、オケクラフトをはじめ、置戸町のゆるキャラ「おけばんばくん」グッズ等を販売展示しています。また、置戸の自然を満喫できるのが、鹿ノ子ダム(おけと湖)下流にある、鹿の子沢です。全国巨木百選に選ばれた三本桂や虹の滝など、充実したハイキングが楽しめます。ハイキング終わりに、日帰り温泉もおすすです。
- 

佐呂間町
Saroma Town

■面積 404.94km² ■人口 4,554人

サロマ湖展望台から一望できるサロマ湖と砂洲を隔てたオホーツク海は、その雄大な景観とともに、ホタテや牡蠣などの豊かな恵みをもたらしてくれます。また、畑作や酪農などの農業も盛んで、カンツリーサインにもなっているカボチャは、本町を代表する農産物です。道の駅サロマ湖では、ホタテの浜焼きやサロマ豚など、多くの特産品を楽しむことができ、人気の観光スポットになっています。
- 

遠軽町
Engaru Town

■面積 1,332.45km² ■人口 17,027人

展望岩(がんばろうい)と日本最大級のコスモス園、世界中の木製おもちゃを集めた「ちゃちゃワールド」、キャンプ場内を走る森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」、日本最古の国宝に指定された「北海道白滝遺跡群出土品」など見所がいっぱいです。また、スキー場のロッジが併設した道の駅「遠軽森のオホーツク」では、ツリートレッキングやサマーグレンデン、東洋スリリングなジップラインが楽しめます。
- 

湧別町
Yubetsu Town

■面積 505.79km² ■人口 7,720人

酪農・畑作を中心とした農業と沿岸・養殖を中心とした漁業など第一次産業が基幹産業の町です。2020年に「バイオマス産業都市」の認定を受け、バイオマス産業を軸とするまちづくりを推進しています。約200種70万本の色彩豊かな「チューリップ公園」や約400本のリラの木が並ぶ「オホーツクリラ街道」があります。オホーツク海・サロマ湖産のホタテや牡蠣などの海の幸が人気です。
- 

滝上町
Takinoue Town

■面積 766.89km² ■人口 2,158人

日本最大級の「芝ざくら滝公園」が有名です。また、香りの里ハーブガーデンでは春から秋にかけて約300種類のハーブや季節の草花が咲き誇ります。市街地の中を流れる渚滑川の両岸には遊歩道が整備され、バードウォッチングや深流釣りを楽しむことができ、美しい日本の歩きたくなるみち500選に選ばれた錦仙峡(きんせんきょう)散策もおすすです。
- 

興部町
Okapepe Town

■面積 362.55km² ■人口 3,422人

豊かな自然環境を背景に酪農と漁業を基幹産業とした町です。町内に多数ある個性的なチーズ工房や牧場直営レストラン、アイス・ソフトクリーム販売店は、どこも大満足の美味しさです。そして沿岸で獲れるホタテ、サケ・マス、モガニなどの魚介類は絶品です。また、酪農におけるバイオマス資源を有効活用し、新たな産業づくりと雇用を生み出す「バイオマス産業都市」を推進している町です。
- 

西興部村
Nishikoppo Village

■面積 308.08km² ■人口 931人

村の面積の9割が森林に覆われ、人口は約1,000人、基幹産業は酪農でオホーツク管内唯一の村です。公共施設の外壁がオレンジ色に統一され、瀬戸川(せとうし)畔から見る街並は、美しい景観となっています。また、村の特産品である牧草で育てた牛から搾った「グラスフェッドミルク」の乳製品は、牛乳、ソフトクリーム、バター、各種チーズなどどれも絶品です。
- 

雄武町
Oshima Town

■面積 636.88km² ■人口 3,907人

オホーツク海に突き出た日の出岬は、温泉や、魅力的なキャンプ場などがある観光スポット。基幹産業の漁業では、毛がにとサケが代表的な水産品です。サケの中でも特に、数千尾に1本ともいわれるメジカ(目匠)、独自ブランド「雄宝」として厳選された天然銀毛サケは高値で取引されています。
- 

大空町
Ozora Town

■面積 343.66km² ■人口 6,260人

オホーツクの空の玄関口女満別空港を擁し、全国自然100選の藻葉山や北海道景観百選の網走湖女満別湖のほか、1.0haの斜面いっぱいには芝桜が咲く「ひがしもちと芝桜公園」など、四季折々に風光明媚な景観が楽しめる町です。主要な産業は農業で、「アスパラ」や「長いも」、「チーズ」などの特産品が贈答用にも人気があります。フォトスポットの「メルヘンの丘」もおすすです。

※面積は令和7年10月1日現在全国都道府県市区町村別面積調(国土院調)

※人口は令和8年2月末現在、世帯数は令和7年1月1日現在の住民基本台帳ネットワークシステムの入力状況であり、各市町村が公表する人口と一致しない場合がある